

こいつが千葉にいたなんて。

よみがえるチバニマン期の古生物



千葉県立中央博物館

令和5年度特別展

令和5年

7/15(土) ▶ 9/18(月・祝)

[開館時間] 9:00~16:30 (最終入場 16:00) [休館日] 月曜 (祝日の場合は翌平日) ※臨時開館日: 8/7, 8/14

[入場料] 一般 800円 / 高校・大学生 400円

- 中学生以下・65歳以上・障害者手帳をお持ちの方及び介護者1名 = 入場無料
- 団体料金(20名以上) = 一般640円 / 高校・大学生 320円

千葉県立中央博物館

NATURAL HISTORY MUSEUM AND INSTITUTE, CHIBA

〒260-8682
 千葉市中央区青葉町955-2(青葉の森公園内)
 Tel. 043-265-3111(代表)
<http://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/>

後援: 朝日新聞千葉総局、NHK千葉放送局、千葉朝日新聞、bayfm78、毎日新聞社千葉支局、読売新聞千葉支局、千葉市教育委員会、市原市教育委員会、日本古生物学会
 協力: アリオ蘇我、京葉銀行、千葉銀行、千葉興業銀行、そごう千葉店 学術協力: 京都大学総合博物館、京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻・地質学鉱物学教室、群馬県立自然史博物館、佐野市富生化石館、温泉県立琵琶湖博物館、独立行政法人国立科学博物館、栃木県立博物館、八王子市教育委員会、平塚市博物館

ちばの未来を、宝くじで応援しよう。



チーバくん

千葉県誕生150周年記念事業

ようこそ！チバニアン期へ

千葉の名前がついたチバニアン期（77万4千年前～12万9千年前）に、房総にすんでいた生物が大集結！ ナウマンゾウの全身骨格や世界最大級のトド化石、大迫力の巨大復元画などでチバニアン期の海と大地を鮮やかに再現します。

チバニアン期の大地

房総の大地は、ゾウの楽園でした。

現在の日本列島では見られない大型哺乳類が闊歩する大地でした。房総に生息したゾウやサイなど、すでに絶滅した動物の化石を全身骨格と共に紹介します。



壮大な景観復元画「チバニアン期の大地」
（チバニアン期前期の間氷期の光景）

千葉県産の貴重なナウマンゾウ化石が約50年ぶりに里帰り。世界で初めて全身骨格が組み立てられた個体が登場！



ナウマンゾウ印旛沼標本復元全身骨格
（千葉県立房総のむら所蔵）



日本初産出のオデュッセウストド頭骨化石



チバニアン期にもいた！ニホンアシカ頭骨化石

チバニアン期の海

房総の海は、トドやアシカの天国でした。

多様な海洋生物が命を育む、豊かな海が広がっていました。絶滅したオオキトドをはじめとする生物の化石や、復元画、復元模型、骨格標本などを使って、当時の海の様子を紹介します。

世界最大級のトド、オオキトドの化石を、実物大復元画や復元模型とともに公開！



身長170cm

世界最大級のトド「オオキトド」復元画

体験イベント

- 古生物の缶バッジづくり 7月16日（日）
- 大昔のどうぶつの絵を描こう 7月17日（月・祝）
- クイズ：ちばの古生物 8月6日（日）
- 化石を拾ってみよう 8月20日（日）
- 博物館フィギュア×チバニアン期の古生物 8月27日（日）
- 本物の化石をさわってみよう 9月3日（日）
- 古生物の絵本読み聞かせ 9月10日（日）
- 古生物の缶バッジづくり 9月18日（月・祝）

講座・観察会

- チバニアン期底の地磁気逆転層観察会 7月23日（日）
- 化石の模型をつくろう 7月30日（日）
- 古生物を復元してみよう 8月13日（日）

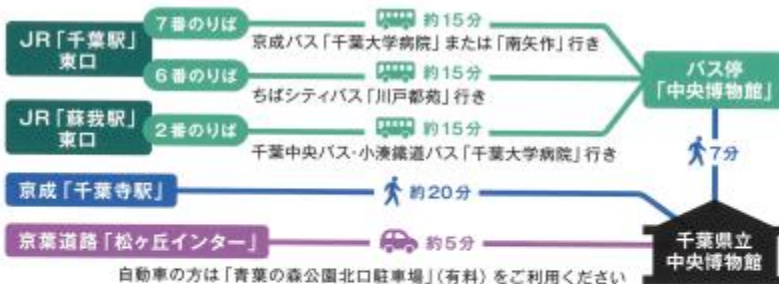
講演会

- トークショー 古生物サミットin房総：古生物に関わるおしごと 8月11日（金・祝）13:00～16:00
演者（敬称略）：土屋 健 / 徳川広和 / 松岡廣繁 / 木村由莉
- 自然誌シンポジウム チバニアン期の哺乳類化石を探る 9月17日（日）13:00～16:00
演者（敬称略）：甲能直樹 / 木村敏之 / 高菜祐司 / 北川博道

ミュージアム・トーク（学芸員による展示解説）

毎週土曜日 ①11:00～11:30 ②14:30～15:00

※各イベントの詳細はHPでご確認ください。



千葉県立中央博物館
NATURAL HISTORY MUSEUM AND INSTITUTE, CHIBA

〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2(青葉の森公園内)
Tel. 043-265-3111(代表)
<http://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/>

